

**東京スター銀行**  
**総額 94 億円、21 金融機関が参加するシンジケートローンを組成**  
**～ SBI リーシングサービス株式会社向けシンジケーション方式**  
**無担保コミットメントライン契約の締結について ～**

株式会社東京スター銀行(東京都港区、代表執行役頭取 CEO 佐藤 誠治)は、このたび SBI リーシングサービス株式会社(東京都港区、代表取締役 階戸 雅博、以下「SBILS 社」と)と当行を含めた計 21 金融機関との間で、総額 94 億円のシンジケーション方式無担保コミットメントライン契約を締結しましたのでお知らせいたします。当行が今までアレンジャー兼エージェントを務めたシンジケートローン案件の中で、21 金融機関の参加は最多、総額 94 億円はコーポレートファイナンス案件としては最大となります。

SBILS 社は、SBI グループの 100%子会社であり、グループの掲げる「顧客中心主義」のもと、より良質で、よりお客さまの役に立つ、主にリース事業に対する投資商品を組成するために設立された会社です。設備投資ニーズのある海運会社や航空会社にかわって多額の資金を要する船舶・航空機を購入し、これらをリースすることで競争力のある資金調達手段を提供し、設備投資ニーズを有する企業と投資家の橋渡しを行う“リーシングサービス”事業の拡大に取り組んでいます。

本件は、SBILS 社の業容拡大にともなう増加資金ニーズにお応えするものであり、同社は事業計画に合わせて新規の案件組成に安定的・機動的に対応できるとともに、外部資金調達力の強化および資金調達先の多様化を実現することが可能になります。今般、当行がアレンジャーとして業界および同社に対する見方をシェアしながら金融機関の招聘活動を行ったことが奏功し、同社にとって新規取引金融機関を含む全国各地 21 金融機関の参加を得たうえで、シンジケートローンを組成することができました。

当行は、航空機ファイナンス、プロジェクトファイナンスや LBO ファイナンス、不動産/ホテルノンリコースローン、債権流動化など、高度な専門知識やノウハウが必要とされる分野で長年にわたり実績を積み上げてきました。現在は、そうした専門知識やノウハウ等を地域金融機関などと共有し、協働しながらシンジケートローンの組成を積極的に推進しており、リフィニティブ・ジャパン株式会社が公表している国内シンジケートローンにおけるブックランナーランキングでは、2019 年第 1 四半期(1 月～3 月期)においてメガバンクや政府系金融機関、大手外資系金融機関などが名を連ねる中、取引金額において 9 位、案件数では 6 位タイ、地域金融機関では取引金額・案件数ともに 1 位となりました。

当行は、今後もシンジケートローンを積極的に活用し、全国の地域金融機関と連携しながら、お客さまのビジネスや事業ステージに応じた最適なファイナンス提供を通じた成長支援を行ってまいります。

< 本件に関するお問い合わせ先 >

株式会社東京スター銀行 広報室 TEL:03-3586-3111(平日 9:00～17:00)

(ご参考) 5月31日時点の各社概要

**【SBIリーシングサービス株式会社の概要】**

---

設立: 2017年4月  
代表者: 代表取締役社長 階戸 雅博  
本社: 東京都港区六本木1丁目6番1号  
資本金: 1億円  
事業内容: ファンド事業、ゼネラルアビエーション事業、ファイナンシャルソリューション事業  
ホームページ: <https://www.sbils.co.jp/>

---

**【株式会社東京スター銀行の概要】**

---

創業: 2001年6月  
代表者: 代表執行役頭取 CEO 佐藤 誠治  
本社: 東京都港区赤坂二丁目3番5号  
資本金: 260億円  
ホームページ: <http://www.tokyostarbank.co.jp>

---